

樫谷議員 おはようございます。通告してあります3件について質問をさせていただきます。する前に質問順位の訂正をしたいと思いますので、ご報告します。1番目に学童保育設立に向けて。そして2番目に海部老人ホーム民営化の進捗状況について。そして3番目にいじめ問題対応策はということで、順序を変えたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。それでは、質問に移らせていただきます。まず学童保育設立に向けて、今まで実施されていた学童保育が廃止されるということで、保護者の方々から不安の声が聞かれます。この事業についての経緯がどこであろうと、牟岐町行政事業として、その成果は十分あったと思われれます。また、保護者の方々から強い存続の要望もあります。そこで新たな市宇ヶ丘学園の中に放課後の学童保育が確保設立に向け全力を尽くしていただきたい。部屋の確保や財源の問題など課題はありますが、この際、不必要な事業を廃止してでも学童保育に向けての財源の確保、保育ルームの確保を新たな市宇ヶ丘学園の中に来年4月を迎えるまでには何とか道筋ができるように早急に取り組んでいただきたい。町長の見解をお聞ひいたします。次に海部老人ホームの民営化についての進捗状況について、お伺ひいたします。浮かんで消し、消しては浮かぶ、この堂々巡りの海部老人ホームの民営化ですが、3町での取り組みが不可欠だと思いますが、首長が変わるとまた振り出しと、なかなか具体的に進んでいかない現状がありますが、一部民営化などという一部の人の動きもありますが、これを契機に町長任期中に牟岐町としての指針を是非検討していただきたい。海部老人ホームを今後どうするのか。財源の問題、継続審議の有無、従業員の対応など問題課題はありますが、民営化の時代の流れの中、先立ってもいくつかの民営化がなされています。ここで改めて町長の見解と今後の見通しについてお伺ひいたします。次にいじめ問題対応策の検討について質問させていただきます。親や先生には見えにくいいじめ、本町の調査では、いじめは無いという結果が出ているとのことですが、私は未だ見つけられていないと判断します。いじめ問題については、藤元議員も前回質問していますが、その後の取り組みの変化についてお伺ひいたします。いじめ問題に本気で立ち向かうことが大切と思いますが、担任、或いは養護教員だけでなく教員全員で向き合う、加害生徒、児童、被害生徒、児童とどう取り

組んで行くのか。もしいじめがあった場合どのように対処されるのか、失敗は許されません。自分に力量が無くてもチームで対応できるプロセスを作り出すような取り組みを提案いたします。児童、生徒一人一人が周りから認められているか、嫌な思いをすることはないか、悪口を言われていないか、本人が傷つくようなうわさ話が聞こえて来ないかというアンケートをとるだけでもいじめが見えてきます。いじめとどう向き合うのか、不登校にならない前に、或いは、心身ともに精神的に陥る前に、また、命に係わる案件になる前に打つ手を考える、職員一体となった取り組みが不可欠だと思います。いま不登校の生徒はいますか。いたら何人いますか。全国でも大きな問題になっています、いじめについて、どのような課題と対策を講じているのかお聞きいたします。以上、3件について答弁をお願いいたします。

枘富議長 福井町長。

福井町長 おはようございます。それでは、榎谷議員のご質問にお答えしたいと思います。まずかばん預かり事業でございますが、現在、実施しているかばん預かり事業は、平成21年度から3か年の計画で、県のふるさと雇用再生特別基金を利用して試行的に開始いたしました。そして今年度は、緊急雇用創出事業が利用できたことから、同制度を利用し、1年間の延長を実施いたしました。しかしながら、来年度以降、同様な国の助成制度が利用できるかどうか分からないことから、町単独事業で実施する場合の町民の皆様への行政の公平性等を考慮し、取りあえず、現制度での事業を終了したい旨の説明を行ったところでございます。その後、多くの方から、共働きの両親のために、放課後子どもを預かる事業は、何らかの形で継続して欲しい旨のご要望を頂き、現在、前向きに検討を行っているところでございます。課題は、場所と人でございまして、この度、統合新設される保育所、或いは、現牟岐小学校、町民センター等を上手く活用し、現在と同じ牟岐町社会福祉協議会への再委託を行うのか、他の方に委託するのかということも含め、検討を進めているところでございます。また、新規の事業は、行政の公平性、受益者負担の原則から、ある程度の自己負担をお願いすることとなりますが、出来るだけ早期に新しい計画を策定し、関係者の皆様にご説明したいと考えております。次に海部老人ホームの民営化の進捗状況についてということでございますが、議員ご質問の海部老人ホームの民営化でございますが、これまで民営化を3町で協議、同意して進めていた

わけではなく、牟岐町で独自に検討を進めていたところでございます。民営化するには、現在の正規職員の処遇の問題とか、低所得者の方の入所可能性、或いは、引き渡すべき施設の整備状況等についても、受けていただく会社と調整、交渉が必要となり、一朝一夕では決められないと考えております。このことから、数年前から町として検討を開始したところでございますが、現時点では、反対される意見もございますことから、一時、歩みを止めている状況でございます。しかしながら、町の行財政改革を進めるためには、民でできることは民でやるのが基本であり、町が多くの臨時の方の力をお借りして運営するというのは、地方公務員法や改正労働契約法の基本的な考え方からしても適切でないと考えておりますので、近い将来、民営化に向け再度、積極的な検討を行っていく必要があると考えております。次に3点目のいじめ問題についてでございますが、昨年の大津市の中学2年生のいじめ苦の自殺問題以降、学校におけるいじめが大きな社会問題となっております。いじめと一括りで言っておりますが、実際は千差万別でございます。生徒の喧嘩から、正しく陰湿ないじめ、一方的な暴行、恐喝までであると聞いています。本来、学校は、逆に友情を育み、勉学の向上、スポーツによる体力の増進に努めるところであり、グローバルな生活力をつけるところであり、いじめなどあってはならないところでございます。そのような場所であるということ、また、そのような場所にしなければならぬと教師の方のご認識から基本的に教師の方はいじめを認めたくない、また、認められないのだと思います。一方、子どもを懸命に育ててこられた親としても、我が子はいじめられるような子ではない、いじめられるはずがないという過信から、その発見が遅れているのではないかと思います。冒頭申しました、大津市の事件以降、いじめは必ずあるとの前提から、再度、文部科学省が行った各県独自の工夫を生かしたアンケート調査では、約半年間で全国で14万件にのぼるいじめが確認され、前年度23年の調査の1年間分の約2倍の件数であったとのことでございます。また、最も件数の多かった鹿児島県では、平成23年度の395件が、約78倍の3万件余りとなったようでございまして、改めて真剣に取り組むことの必要性や対策の必要性を痛感したところでございます。従いまして、町といたしましても、教育委員会や学校任せにするのではなく、今後、あらゆる機会を捉え、いじめの兆候がないか注視して参りたいと考えております。以上でございます。

枅富議長 峯野教育長。

峯野教育長 皆さん、おはようございます。いじめ問題の現状と取り組みにつ

きましては、9月議会の時にもお答えさせていただきました。それ以降の最新の調査では、いじめの認知件数が町内各学校ともゼロという報告を受けていますが、いじめはどの学校でも、どの子にも起こり得るという認識で今後も学校との連携を密にしながら、いじめを生まない環境づくりに向け、取り組みの一層の充実を図ってまいりたいと考えております。各学校の取り組みにつきましては、以前にも申しましたように定期的なアンケートの実施、校内研修会の開催、人件集会の開催、保護者、地域との連携など学校の実態や子どもの発達段階にそくした様々な取り組みが行われておりますが、いじめ対策は未然の予防こそが問題解決の最大の対策であろうと考えております。そのため教師が子ども達の間関係に目を配り小さな喧嘩を見逃さない観察力が求められます。小学校ではいじめの兆候やサインを早期に発見できるようにアンケートの見直しを図り、より具体的で、よりきめ細かな形で新年度から実施する計画にしております。また、普段からどの子どもにも分かる授業を展開し、充実感や達成感を持たせることが互いの違いを認め合い支え合う人間関係づくりを進めていくことがいじめを未然に予防する基盤になります。よく分かる授業づくりや豊かな心を育むことが学校教育の本来の役割であり、当たり前のことでございますが、当たり前のことを当たり前にすることがいま学校に求められていることであり、そのことがいじめの防止にも繋がると考えております。いじめは心に深い傷を残すものです。いじめの芽を早期に掘り起し、早期に発見することが子ども達の幸せに繋がっていきます。教育委員会としましても学校とスクラムを組んで子ども一人一人に自信を持たせ他人を思いやる気持ちを育てる学校の教育活動の推進を支援していくとともに弱いものをいじめることは、人間として卑怯なことであり、絶対に許されないことであるという毅然とした態度でいじめ問題に対処していきたいと考えております。以上なのですが、先ほどご質問の中に不登校の牟岐町の数はどれぐらいいるのかというご質問だったので、最近聞いているのでは、中学校が4名、3年生が3名、それから、1年生が1名、小学校ではいないと。不登校ぎみ、いわゆる予備軍の子どもが小学校では1名いるというふうに聞いております。以上です。

枅富議長 榎谷議員。

榎谷議員 再問いたします。まず学童保育を設立に向けてですけれども、この件について、ある程度の負担が保護者に掛かるということですが、一人見ている保護者の方だったらいいのですけども、2人になりますとその倍の負担を強いられるわけでございますので、そういったことも考えて、できるだけその負担が重荷にならないように配慮していただきたいなど、そういうふうに思います。そして、そのためには、いま改めて事業の見直し、これは廃止できるものだというような一つ事業の見直しをして廃止できるものなら廃止していただいて、その予算をこちらの方に使っていただくような形にはならないのかなと、そういうふうに思います。それと、もう1つは部屋の確保ですけれども、いま児童館に何か一つ持っていかれるのがベストであるけれども、小学校にしても、或いは、中学校にしても、今の建てている保育所にしても、そのルームの余裕がないということであれば、当面は次の部屋の確保ができるまでは、現在の部屋を使わざる得ないと思いますが、さっき言ったような財源等も考えまして、できるだけ市宇ヶ丘の中に早いこと設置していただきますように、そして、また、今日、この会で新地に向けて考えていることをはっきり聞きたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。2つ目の海部老人ホームの民営化についてですが、この件については、牟岐町が独自でやれるのですか。その確認をしたいと思います。牟岐町が独自で今までやってきたという答弁がございましたので、独自でやれるのであれば、民営化に今後しない。するならばしないならしない。それは、もし民営化するとなったら、それはいつ頃になるのか。今回はっきりと一部民営化はあり得ないとおっしゃっていただければと思います。そして、3つ目のいじめ問題対策については、どういったアンケートを出されて、全てゼロとなっているのかということです。さっき少し提案の中でも言いましたけれども、アンケートの内容によっては、いじめが見えてくる内容があります。だから、そういったことで今までのアンケートの中でいじめがゼロということであれば、アンケートの内容を変えてみてはどうかと思います。もう1つは、今のところ中学校では4名、小学校では1名予備軍という

ことで計5名ということですので、決してゼロというのと対応しないなと思います。不登校というのは、結局、いじめが原因の場合が非常に多いわけなのです。そこら辺りを少し見えにくい。先生も見えにくい。生徒はよく分かっているのですが、先生からは非常に見えにくいですので、もしいじめが発覚した時に、例えば、担任の先生と養護の先生だけで対応するということは、私は極めて難しいと思いますので、教員全体が、いま全国的にいじめが問題になっていますので、教員全体がいじめに対して担任の先生に任せるのではなくて、みんなで取り組むようなプロセスを今回作っていただきたいと思います。以上、再問について答弁をお願いいたします。

枘富議長 福井町長。

福井町長 まずは、かばん預かり事業について、できるだけ保護者の方の負担を小さくそれと、できるだけ具体的にいま言って欲しいということでございますけれども、ご負担額につきましては、これから町の方で、できるだけ安くするというところで検討してまいりますけれども、どんな事業が、できるだけ町も国とか県からいただけるものがあるのだったら、それを利用しながらという形で進めたいと思っておりますので、それが今これというのが決めておりませんので、できるだけ負担は小さくしたいのですが、今の時点で幾らということはまだ決めておりません。場所でございますけれども、場所はいま統合しております小学校、保育所の一部とか、それから、中学校の空き教室とか、それから、町民センターとか現在の小学校、牟岐小学校とか、いろいろ検討しているのですが、最終的には、できるだけ地震、津波が来ても安全な場所、それから、利用される方の負担にならないようにということで、例えば、学校が終わって牟岐小学校まで来るといのは、非常に負担になりますので、そういう負担がないようにということで、いろいろ検討してまいります。今の時点ではこれと決めていないのです。これからできるだけ早く検討してまいりますけれども、このようにいっぱい危惧があるというような認識でありますので、申し訳ございませんけど、今しばらく待っていただきたいと思います。それから、

老人ホームの件でございますが、これは当然のことながら3町で運営しているものでございますので、町単独で決められるわけございません。町単独で検討していたということであって、3町で同意して進めていたということではないということでございます。最終的にやる段階になったら3町で決めてやっていくということになるのですが、その協議を開始するまでの資料を集めなければいけないし、皆さんのご同意も、関係者も集めていかないといけないということで、少し時間が掛かると思います。今ごみの収集とか火葬とか民営化に入っておりますし、できるだけ臨時の方を減らしたいのです。臨時の方というのは、なかなか年度末の手当てもいただけないとか、処遇的に正規の方と比べて非常に不利益がありますので、できたら公務員の臨時を減らしていくと。一般の方の正規の方がいいのではないかとというような私は認識しております。そうすることで、民営化というのは、そういう面でメリットがあると考えておりますので、もちろん行財政コストの低減ということもあるのですが、そういうこともございますので、民でできることは民でということでも今後ともやっていきたいと考えております。いつまでにということもございますけれども、これは、なかなかマンパワーも相当必要な事業でございますので、一つ一つ解決するというようなことで同時に用意ドンでスタートはできないので、一つ片付いたら次の課題というふうな形で取り組んでまいりたいと思いますので、いつまでにというのは、今の段階ではお答えできない状況です。いじめにつきましては、教育長の方からお答えしたいと思います。よろしく申し上げます。

枅富議長 峯野教育長。

峯野教育長 いじめの認知件数なのですが、一応、各学校ともゼロという数字で上がってきているのですが、学校が認知している数でございます。従って、実際には人間関係の摩擦と言いますか、子ども同士の、或いは、縄れと言いましょうか、そういうこと、或いは、小さいいじめ等については、実際はあるかも分かりません。学校が認知しているのはゼロということでございます。その実態をきちっと掴むためにもアンケートの内容と言いますか、先ほどご指

摘ありましたように、それを変えていくと、見直していくということが非常に大事だと思うのですが、中学校の場合は、アンケートは生徒会の活動の一貫としてやっております。小学校は、もちろん教員が作っているのですが、小学校でも1年生から6年生までということで、発達段階がありますので、言葉では分からないところもあります。そういう意味でもアンケートの内容を見直していかなければいけないと思いますが、できるだけ子どもの実態と言いましょうか、そこらが分かるような形のアンケート、そういう把握できるようなアンケートになるように私の方からも学校の方に指導、助言もしてまいりたいというふうに考えています。以上です。

枅富議長 榎谷議員。

榎谷議員 学童保育設立に向けてですが、存続に向けて、是非実行していただきたいと思います。それから、海部老人ホームの件でございますが、この件については、民営化の方に流れで時代の流れで民営化になるかも分からないということですが、一部民営化はあり得ないということで認識してよろしいでしょうか。そののと、それと、最後のいじめ問題については、たくさん発見して、たくさん解決するような事例をどんどん作っていただきたいと思います。今のところゼロなのでというのではなくて、本当に見分ける工夫をしていただきたいと思いますし、既に不登校になっている人のフォロー、これはいろんな問題があると思いますけれども、いじめが発端である不登校がたくさんございますので、その例外ではないと言い切れませんので、不登校になった方のフォロー、こういったものも担任と養護の先生だけではなくて、みんなが取り組んでいけるような形のプロセスを是非作っていただきたいと思います。以上、3件について私の一般質問を終わります。